

I はじめに

高齢化の急速な進展に伴う雇用対策の一環として、平成2年度から高年齢者職業能力開発援助事業として高年齢者特別訓練コースが雇用促進事業団の各訓練関係施設で実施されているところである。また、都道府県の一部の施設でも高年齢者の訓練が実施されている。

平成2年度に高年齢者特別訓練コースの実施を開始して2.5年を経過しているが、訓練施設では実際に訓練を実施した結果、種々な課題に遭遇し、解決するのに苦慮している状況にある。

そこで、高年齢者を訓練するための「PR」から始めて「募集」、「訓練実施」、「相談・就職」まで一貫した的確な訓練プログラムの開発が必要になっている。当センター開発研究部ではこの訓練プログラムを開発するために平成3年度を初年度として「高年齢者用訓練プログラムの開発に関する研究」に必要な種々の関係資料や情報を調査収集するとともに、雇用促進事業団施設で実施している高年齢者特別訓練コースの実施状況調査及び訪問調査を行った。その結果は調査研究資料第93号「高年齢者特別訓練コースの実施状況調査結果」としてとりまとめ済である。

平成4年度はこれらの資料や実施状況結果を踏まえ、モデル的な高年齢者用訓練プログラムの開発について検討し、原案を作成の上研究委員会で協議して高年齢者の訓練が効率的、かつ効果的にできるような訓練プログラム（モデル）を作成した。

訓練プログラム（モデル）の作成にあたっては、それぞれの地域ニーズや事業ニーズ、各訓練施設及び受講者側の事情を考慮して、より地域に密着した、より適切な訓練プログラムを開発する際のツール（道具）として活用できるように、実施にあたっての留意点及びノウハウを併せて記載することとした。

また雇用促進事業団における新訓練技法、すなわちシステム・ユニット訓練方式の詳細及び都立訓練施設における高年齢者訓練事例を紹介しておくので、参考にして頂きたい。